

代表選挙検証委員会の設置について

2026 年 9 月 11 日

1. 趣旨・目的

今回の代表選挙では、投票用紙の不達および有権者の未登録という重大な瑕疵が発生いたしました。結果自体は各枠で大差がついており、現時点では当落を左右した可能性は低いと見られますが、この点も含めて厳正に検証することが、公党としての説明責任を果たし、選挙結果の正統性を確保するうえで不可欠です。

本検証委員会では、以下の 3 つの作業を実施し、党としての総括と改善に資することを目的とします。

- ・ 事実の確定 : 暫定値にとどまる不達・未登録の最終確定値、原因、権利回復の実施記録等の確定
- ・ 判断の検証 : 不達判明後の意思決定（再郵送検討の有無、送信ドメインのリスク評価等）のプロセスと判断理由の評価
- ・ 再発防止策の策定 : 規則・運用・システムの 3 層における対策の策定
2026 年 10 月公開予定の新 CRM に関する提言

2. 委員会体制

- ・ 委員長：足立 康史（参議院議員）
- ・ 副委員長：西岡 秀子（衆議院議員）
- ・ 副委員長：磯崎 哲史（参議院議員）
- ・ 顧問：栗山 明久（弁護士）

委員会は、各時点の有権者名簿、名寄せ前後のデータ、登録変更の履歴、発送返送の記録、システム上の操作記録、システム事業者との連絡記録、本部・総支部間の情報授受に関する規程・同意書面・覚書等検証に必要な資料の提供を党本部・代表選挙管理委員会・関係部署に求めます。

3. 検証すべき主要論点

- ・ 事実の確定
 - － 投票用紙不達および有権者未登録の規模と発生原因の内訳（両者は原因・検証方法が異なるため、分けて確定）
 - － 同一人への投票券の重複送付（党員用・サポーター用の重複を含む）の件数と類型、および集計・ポイント配分への影響
 - － 再公告及び結果公告における有権者数の確定プロセスおよび整合性
- ・ 判断の検証
 - － 不達判明時点での再郵送検討の有無および不採用の理由
 - － メール送信における新規ドメイン利用のリスク認識・評価の有無
 - － 権利回復措置の遅れ、および選挙手続の見直し（投票期日の延期等）に関する検討経緯
 - － 代表選挙規則第 23 条に基づく党員からの申立てに対する受領確認・審査開始・回答の実施状況

・制度的背景・システム連携

- 2023 年代表選後に合意されたとされる改善策の実施状況と、実施に至らなかった場合の構造的要因
- 党員・サポーター名簿管理（本部・支部間）における不備と運用の課題（名簿全体の重複検査を含む）
- 有権者登録時に資格要件（国籍・住所地）を確認する項目・手順・記録の有無（制度・名簿設計上の検証であり、個人の調査は行わない）
- 本部・総支部間の党員・サポーター情報（国籍を含む）の授受及び個人情報の第三者提供・共同利用・委託に関する契約・規程・同意の内容
- 新 CRM の開発要件および運用フローへの組み込み方針

5. スケジュール

- | | |
|----------------------|------------------|
| ・ 9 月 11 日（金） 15:00- | 第 1 回委員会 |
| ・ 9 月 14 日（月） 16:30- | 第 2 回委員会 |
| ・ 9 月 14 日～25 日（金） | 事実関係の精査、関係者ヒアリング |
| ・ 9 月末メド | 報告書の作成・報告 |

6. お問い合わせ先

- ・ 足立康史 事務所 TEL：03-6550-1216
- ・ 磯崎哲史 事務所 TEL：03-6550-1210 担当：長谷（はせ）